

「ニュージーランドへ移住」：学習シナリオ 荻野

タイトル
「ときめき取材記～ニュージーランドへの移住」
目標
<p>カンタベリー大学の日本語学習者（中級後半～上級）が、『くりっくにっぽん』の「My Way Your Way」と「ときめき取材記：学生が気になるあの人にインタビュー」の企画・取材・記事づくりを参考にしながら、テーマである「ときめき取材記～ニュージーランドへの移住」に合致する日本人について情報収集・調査を行い、海外生活や移住に興味がある日本人読者を対象とした記事を作成する。</p> <p>対象とした読者に①「何を伝えたいのか」、②「記事を読んでもらうことから何につなげたいのか」を明確にして、このプロジェクトワークに取り組む。</p> <p>完成した記事はインターネット上に（限定あるいは一般）公開する。プロジェクトは毎年度実施し、成果物を蓄積する。次年度の履修学生に公開し、ウェブサイトへのコメントの書き込みにより交流を図る。</p>
学習シナリオ
<p>3人のグループに分かれ、テーマ「ニュージーランドへの移住」に合致する日本人について情報収集・調査を行う。成果物として記事を作成する。完成した記事はインターネット上に（限定あるいは一般）公開する。</p> <p>調査対象者は下記の二つを満たすものとする。</p> <ul style="list-style-type: none">①ニュージーランドに移住してきた日本人②ある領域（仕事、趣味、スポーツなど）で活躍している日本人（インタビューを行うのでクライストチャーチ在住が望ましい） <ul style="list-style-type: none">● 移住する上での「転機」を記事内容に必ず含めること。● 優れた記事は公益財団法人国際文化フォーラム http://www.tjf.or.jp のウェブサイトで開催する可能性があるため、調査対象者にそのことを伝え、了解してもらおうこと。（依頼書と承諾書あり） <p>1 情報収集・調査方法（下記の方法を併用する）</p> <ul style="list-style-type: none">● ドキュメント調査（書籍・インターネットサイト）● インタビュー調査

2 オンライン特別講義

- 『インタビューの魅力、心構え、コツ』 国際文化フォーラム事務局
- 『インタビュー記事にふさわしい写真の撮り方』 国際文化フォーラム事務局
- 『記事をまとめるコツ』 国際文化フォーラム事務局

3 Facebook group（非公開）

- クラスメイトと特別講義担当者に自己紹介の投稿をする。
- インタビュー記事の写真撮影の練習として、写真とキャプションを投稿し、フィードバックをもらう。

4 発表

発表1：ドキュメントリサーチ発表（各グループ5分、スライド使用可）

発表2：企画とインタビューの質問を発表（各グループ5分、スライド使用可）

発表3：インタビューについての報告（各グループ5分）

①インタビューで得た最大の成果 ②成功したこと ③改善が必要なこと

発表4：最終発表『プロジェクトを通して学んだこと』（個人発表）

5 成果物：記事

- 1800字以上のテキスト（一人600字以上）
- 写真4～5枚以上（動画が入ってもよい）
- 移住する上での「転機」を記事内容に必ず含めること。
- 文章と写真のレイアウトに配慮し、読みやすくわかりやすい記事に仕上げること。
- 性・暴力・犯罪を扱ったもの、誹謗中傷が入るものはインタビューにも記事にも含めないこと。
- 優れた記事は公益財団法人国際文化フォーラム <http://www.tjf.or.jp> のウェブサイトで公開する可能性があるので、調査対象者にそのことを伝え、了解してもらおうこと。（依頼書と承諾書を使用する）

6 振り返りレポート：『プロジェクトを通して学んだこと』

- 400字以上
- MS Word でタイプして Moodle で提出

「めやす」×「くりっく」プロジェクト

総括的評価

- テーマについて他者との協働を通して調べることができる。
- ドキュメント調査（書籍・インターネットサイト）とインタビュー調査を計画し、実行することができる。
- 得られた情報をグループでまとめ、他者に伝えることができる。
- 他者の発表や意見を受け止め、議論や討論ができる。
- 調査結果をまとめ、読者にとってわかりやすく、興味を持ってもらえるような記事を日本語で作成できる。
- 自らが作成した記事を読んだり、それに対する他者からのフィードバックとコミュニケーションを通して、自分の考えや理解をさらに深めることができる。

参考資料：「外国語学習のめやす」マスター研修 2014 課題発表:目標設定・学習活動・評価 作成者:田中祐輔/東洋大学講師(日本語)

田中祐輔(東洋大学 / 日本語) http://www.tjf.or.jp/meyasu/support/docs/plan_tanaka.pdf

必要な文書

- インタビューーへの依頼書（TJF 企画書フォームを参考にする）
- インタビューー及び学生へのウェブサイトへの記事・写真掲載の依頼書と承諾書

活動の流れ

前期前半	
1.	<ul style="list-style-type: none"> • インTRODクシヨN:プロジェクト概要、目的、タイムライン • 「くりっくにっぽん」紹介 • 「くりっくにっぽん」「My Way Your Way」を読み、①どの記事に興味を持ったのか、②その記事のどこに惹かれたのか、③それはなぜなのか、について話し合う。「内容」だけでなく、構成、表現の観点からも話し合う（時間がない場合は第2週にも話し合いを行う）。
2.	<ul style="list-style-type: none"> • 3人一組のグループを作る。 • グループごとにインタビュー候補者の検討を開始。 • 「移住」についてのドキュメントリサーチを行う。各グループで下記の一つのトピックを選び、第4週に発表（5分、スライド使用可）する。 • ①NZと移民（概要）、②日本人の移民（世界）、③NZへの日本人移民（過去から現在）、④NZへの日本人移民（現在と将来）、⑤クライストチャーチへの日本人移民 • オンライン特別講義をしてもらおう TJJFの方に自己紹介文を書く(Facebook Secret Group)。
3.	<ul style="list-style-type: none"> • ゲストレクチャー「インタビューの魅力、心構え、コツ」 国際文化フォーラム事務局副主任
4.	<ul style="list-style-type: none"> • 発表1：ドキュメントリサーチ発表（各グループ5分、スライド使用可） • インタビュー候補者決定と非公式コンタクト • 企画とインタビューへの質問の検討開始。（企画検討用ワークシートあり） （事前に相手についてよく調べ、深い話を引き出すための質問を考える）
5.	<ul style="list-style-type: none"> • インタビューの質問を含めた企画準備 • 次の3つを含めること。①なぜその人を選んだのか、②何を知りたいのか、③そのためにどのような質問を考えたのか。
6.	<ul style="list-style-type: none"> • 発表2：インタビューの質問を含めて、企画を発表（各グループ5分、スライド使用可） 次の3つを含めること。①なぜその人を選んだのか、②何を知りたいのか、③そのためにどのような質問を考えたのか。 • クラスからのフィードバック（感想シート）を得て質問を仕上げる。 • インタビューに正式依頼 • ゲストレクチャー「インタビュー記事にふさわしい写真の撮り方」 国際文化フォーラム事務局

「めやす」×「くりっく」プロジェクト

7.	<ul style="list-style-type: none"> ● 模擬インタビュー（クラス内で実施）（時間がなく実施できなかった） ● ゲストレクチャー『記事にまとめるコツについて（仮題）』 国際文化フォーラム事務局副主任
前期後半予定	
8.	<ul style="list-style-type: none"> ● インタビュー本番 ● インタビュー終了次第、記事の作成開始。
9.	<ul style="list-style-type: none"> ● 発表3：インタビューについての報告（各グループ5分） ● ①インタビューで得た最大の成果、②成功したこと、③改善が必要なこと ● 記事の作成
10.	<ul style="list-style-type: none"> ● 記事原稿提出
11.	<ul style="list-style-type: none"> ● 担当教員からのフィードバックを得て、原稿に加筆修正し、第二原稿提出。
12.	<ul style="list-style-type: none"> ● 発表4：最終発表 ● 振り返りレポート提出（600字以上、MS WordでタイプしてMoodleで提出）。 ● 記事の完成

参考

<http://www.tjf.or.jp/clicknippon/ja/henblo/post-4.php>

<http://www.tjf.or.jp/tokimeki/>

公益財団法人 国際文化フォーラム

<http://www.tjf.or.jp/jp/overview/index.html>